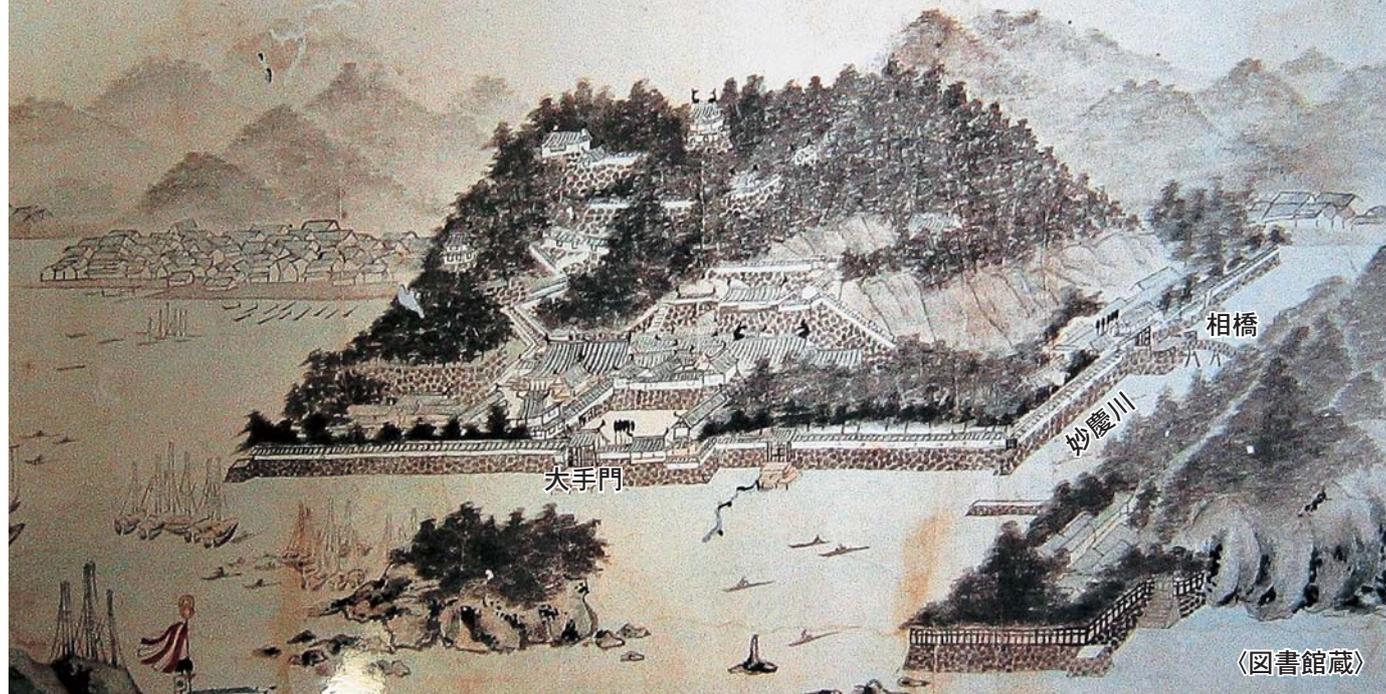


「歴史」を活かせば「未来」が変わる!

城山周辺のまちづくりを紹介します

建設課まちづくり整備室 ☎251177



〈図書館蔵〉

【絵図の説明～九鬼水軍の海城「鳥羽城」について～】

鳥羽城は、九鬼水軍として活躍した九鬼嘉隆により、文禄年間（1592～1596）に築城された、海側に大手門のある全国的にも珍しい海城でした。明治時代になると城は取り壊され、現在では石垣しか残っていません。城山は鳥羽城の歴史が詰まった重要な場所です。



「とばみなとまちづくり市民協議会」での内容協議の様子

平成17年度から官民協働の会議である「とばみなとまちづくり市民協議会」を立ち上げ、これまで、市民と行政が協力し合って工事内容を検討し、事業を進めてきています。

平成19、20年度には、城山を顕在化させることを目的に「城山を美しくみせたいプロジェクト」と題して草木伐採



ここでは、本年度に予定している、城山に関係する二つの事業についてご紹介します。

作業を行うなど、まちづくりに関する活動も積極的に行ってきています。また、周辺のみなさんには、さまざまなまちづくりに関する情報を「まちづくりニュース」として随時発行しています。ホームページ（アドレスは最終ページに掲載）にも掲載していますので、ご覧ください。

鳥羽の地域資源を活かしたまちづくり

市では、鳥羽駅周辺を中心市街地において、歴史的資源など鳥羽の地域資源を活かしたまちづくりを進めています。

これまで整備してきた主な事業は、妙慶川の遊歩道整備や相橋・大黒橋の架け替え、道路の修景工事、伊良子清白

みんながまちづくりの主人公

邸移築などがあります。

鳥羽のまちが持っている個性を磨き、さらに光らせていくことで、訪れる人にとっても住民にとっても魅力のあるまちになるよう、まちづくりを進めていきたいと考えています。

その1

城山の草木伐採作業

国の景気対策である緊急雇用対策を活用し、城山公園周辺の草木伐採作業を行います。

作業の目的

城山の草木の伐採を行うことで「ポケットパーク整備工事」と相乗効果を発揮し、歴史ある城山の魅力を最大限に引き出すことができると考えています。右ページの絵図を見ると、城や石垣を遠くからでもはっきり確認することができます。

現在の城山は、長年樹木の間伐や剪定作業を行っていない区域が多くあり、草木が生い茂っている状況にあります。そこで、今回の事業では、現在の城山を昔のように適正で安全な樹木の生育環境に整備するとともに、鳥羽城の名残である石垣を周囲からはっきり見えるようにし、また城山からの眺望や景観をよくすることを目的としています。城山周辺のみなさんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

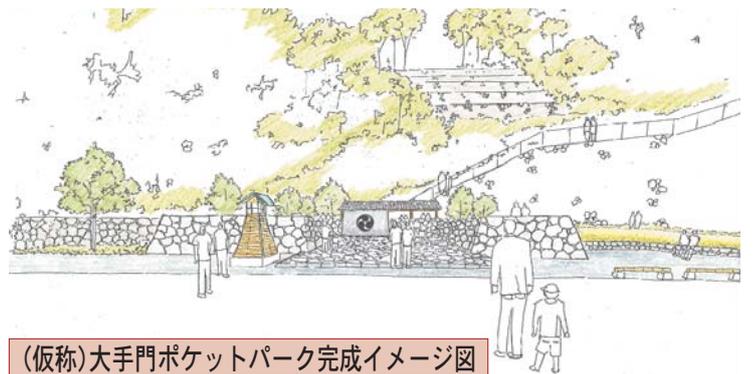
作業エリア図



作業箇所(※業務進行とともに変更する可能性があります)

その2

大手門ポケットパーク整備



(仮称)大手門ポケットパーク完成イメージ図

整備のポイント

工事内容と整備のポイントの一つ目は、「国道側から魅せ

城山公園東側のパールロードビル跡地において、ポケットパーク整備工事を行います。ここは、国道側から城山を望むと「鳥羽城の顔」となる場所であり、訪れる観光客や市民のかたが趣を感じ、足を運びたくなるような場所に整備することを目的としています。

することを意識した「デザイン」です。完成イメージ図のように新たに石垣を積み、仕切られた居心地の良い、ゆったりとくつろぐことができるスペースを整備していきます。二つ目は「老朽化した階段の修復」です。以前あった城山公園へつながる階段は、老朽化によってコンクリートの床面が傾き、危険な状態であったため、通行止めにしていました。この階段を修復していきます。



「城山を美しくみせたいプロジェクト」で現れた段々石垣です

これら二つの事業は、来年3月ごろには完成する予定です。みなさん、新しい城山にぜひお越しください。